

一 如甘露見灌の事

仰せに云はく、甘露とは天上の甘露なり。されば妙楽大師云はく「実相の常住は天の甘露の如し。是不死の薬なり」云云。此の釈の心は諸法実相の法体をば甘露に譬へたり。甘露は不死の薬なりと云へり。所詮妙とは不死の薬なり。此の心は不死とは法界を指すなり。其の故は森羅三千の万法を不思議と歎じたり。生住異滅の当位当位三世常恒なるを不死と云ふ。本法の徳として水はくんだりつめたく、火はのぼりあつし。此を妙と云ふ。此即ち不思議なり。此の重を不死とは云ふなり。甘露と妙とは同じ事なり。然れば法界の儘に闇いて妙法なりと説くを本法とも甘露とも云へり。火の水にきゆるは本法にして不死なり。十界己々の当位当位の振る舞ひ常住本有なるを、甘露とも妙法とも不思議とも本法とも止観とも云へり。所詮末法に入りて甘露とは南無妙法蓮華経なり。見灌とは受持の一行なり云云。